

KOOLS-IFU WS

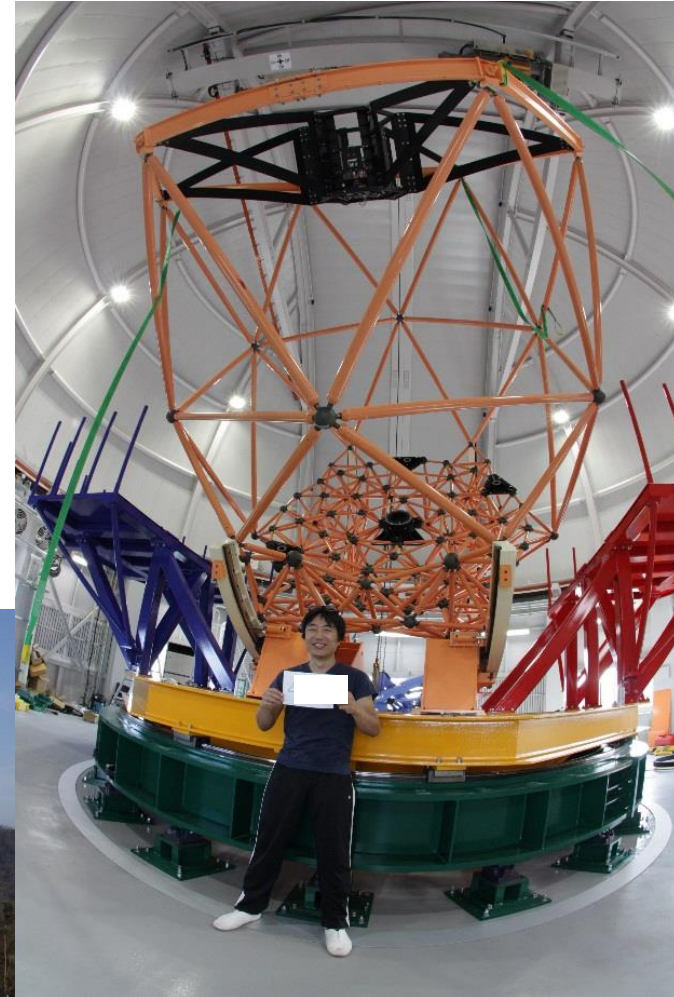
2018年2月5－6日 @ 京都

ようこそ 冬の京都へ



3. 8m望遠鏡の現状とKOOLS-IFUの利用

- 3. 8m望遠鏡は、ほぼ完成
- 鏡を入れたテストは4-5月頃か
最初はphoton bucket telescope
- 8月からの共同利用を目指す
S18B:8-12月の約1ヶ月程度？
- 第1期共同利用観測装置はKOOLS-IFUのみ
throughput向上努力中
- S19AもKOOLS-IFUのみか



共同利用開始にあたって

2016年岡山UMでは:

- 2018年(平成30年)度

フォトンバケツ状態で開始

口径2m相当以上で、

2秒角内に80%の光が集まり、

30分の積分ができる

現在のスケジュールでは18枚のセグメントミラーで可能そう

その調子によるので、最初は共同利用ではキュー観測かも？

共同利用運用の方針（岡山プロ小中間答申）

- 定常運営期

キューモード、クラシカルモード、その他
タイムドメイン天文学重視なので、柔軟な観測割当が可能な
キュー観測が主たるモード（共同利用と京大課題を統合。
優先順位、天候判断などを判断して自動観測を中心に）

- 望遠鏡立ち上げ期

望遠鏡がリスクシェアになる可能性があり、KOOLS-IFUのみであること、
将来キューモード中心になると考えられることから、
キューモード中心。ユーザーも観測に参加できるが、観測作業は望遠鏡ま
たは観測装置の担当者が行なう。

このWS

- KOOLS-IFUによるサイエンスの検討、プロモーション

討論では、

- KOOLS-IFUに対する要望（機能など）
- 観測等の運用に関する要望